



南浦和サッカー少年団 【活動の再開に向けたガイドライン】

MINAMIURAWA



MINAMIURAWA

2021年 7月 3日
Ver.2.0



はじめに

2020年の年初より感染が拡大した新型コロナウイルスの影響により社会・経済活動が停滞する中、事業者および関係団体は、今後の持続的な対策を見据え、政府の方針等に基づいて、業種や施設の種別ごとにガイドラインを作成するなど、自主的な感染防止のための取組を進めることが求められており、日本スポーツ協会や日本サッカー協会等においても各種統括団体向けのガイドラインが策定・公表されています。

「南浦和サッカー少年団 活動の再開に向けたガイドライン」(以下、「本ガイドライン」)は、こうした政府の方針や上位団体のガイドラインに基づき、埼玉県サッカー協会第4種委員会策定の「サッカー活動の再開に向けたガイドライン」を基本として南浦和サッカー少年団が各種活動の再開に当たって留意事項や基準を整理し、まとめたものです。

南浦和サッカー少年団の団員・保護者・指導者は、本ガイドラインに沿って感染拡大を防止し、関係者皆様の安全を最優先し、活動を再開いたします。本ガイドラインをご確認のうえ、周知徹底いただきますようお願い申し上げます。





MINAMIURAWA Guideline



I. 健康管理の徹底

1. 体調チェックの励行

- ① 『健康チェックシート』(別添)の項目に基づき、各家庭で体調チェックを実施し、一つでも当てはまる場合は活動に参加しない。

《 参考例 》

- ✓ 平熱を超える発熱
- ✓ 咳(せき)、のどの痛みなど風邪の症状
- ✓ 嗅覚や味覚の異常
- ✓ 倦怠感や息苦しさ(呼吸困難)を感じる
- ✓ 体が重く感じる、疲れやすいなどの症状

2. 検温、健康履歴

- ① 団員は、検温と健康管理を徹底する。
少年団への提出は求めないが、『健康チェックシート』(別添)を使用し、少しでも異常がある場合は練習に参加しない。
- ② 団員は、起床時・グラウンド到着時・練習開始時に検温を実施する。
グラウンド到着時の検温結果は、団にて記録し、保管する。
平熱を1℃以上超える場合は練習への参加を認めない。
- ③ 指導者・保護者も同等の対応を実施する。
- ④ 状況に応じて、速やかに医療機関を受診する。



II. マスクの持参・着用の徹底

1. 団員

- ① マスクは各自、必ず持参する。
- ② グラウンドや試合会場に向かう際、帰宅の際には原則マスクを着用する。
気温が高く、熱中症の恐れがある場合など、着用が困難な際にはソーシャルディスタンスを確保する。

2. 指導者

- ① マスクは各自、必ず持参する。
- ② グラウンド内でプレイを伴う指導をする際を除き、原則マスクを着用する。
- ③ 近接した状況で大声での指示は避ける。

3. 保護者

- ① グラウンドや試合の当番は、マスクを着用し、必要な際には使い捨ての手袋を着用する。
- ② 当番以外の保護者がグラウンドで練習や試合の観戦・見学をする場合は、グラウンド入口に設置した検温台にて検温および記名を行い、他の保護者と十分な距離を保つ。





MINAMIURAWA Guideline



Ⅲ. 「3つの密」回避の徹底

感染経路である、飛沫感染と接触感染に十分注意し、感染要因である三密（密閉空間・密集場所・密接会話）の状況を作らない様に配慮する

1. グラウンドでの密集を避けるため、団員の集合時間は開始時間の15分前以降とする。ただし、6年生の集合時間は30分前以降とする。
2. ミーティングや食事等は身体距離の確保に努めるとともに極力短時間で終わらせる。
3. 当面、試合開始時の円陣は組まない。
4. グラウンドでの密集を避けるため、全学年同時の練習は実施しない。
5. 保護者がグラウンドで練習や試合の観戦・見学をする場合は、グラウンド入口に設置した検温台にて検温および記名を行い、他の保護者と十分な距離を保つ。来校する他団体へも協力を求める。
6. 練習終了後は、速やかに帰宅する。



Ⅳ. 手洗い・うがい等の徹底

1. 手洗い場所を確保のうえ、手洗いとうがいを徹底する。
2. グラウンド内、全ての水道場にポンプ式の石鹸と消毒液を用意するとともに手洗い方法を掲示する。
3. 試合後、練習後、食事前、トイレ後の手洗いを徹底する。
4. 手を拭くタオルやハンカチなどの共有・貸し借りは一切禁止とする。
5. 帰宅後は、手や顔を洗い、うがいを行う。
また、できるだけ速やかにシャワーを浴びて着替える。



Ⅴ. 水分補給・食事（熱中症対策を含む）

1. 熱中症対策も含め、これまで通りこまめな水分補給を行う。
2. 飲水ボトルは共用せず、各自持参したものを使用する。
3. 当面、ボトル補給用のジャグの設置は中止とする。
4. 飲料用の氷は持ち寄りを中止し、応急処置用の氷として持ち寄る。
5. 指導者へのお茶出しは行わない。指導者は各自で飲み物を用意する。
6. 飲食物を手にする前に、手洗い、手指消毒を徹底する。
7. 練習・試合時に食事をとる時は、お互い一定の距離をとる。
8. 飲み切れないドリンク等はグラウンドに捨てず、各自持ち帰る。





MINAMIURAWA Guideline



VI. 衛生管理の徹底（消毒とリネン管理）

1. トイレのドアノブや水洗トイレのレバーは、グラウンド当番がこまめに消毒を実施する。
2. トイレの利用後は必ず手洗いをを行い、手拭きのハンカチやタオルは共用しない。
3. ボール以外の使用用具は、こまめに消毒を実施する。
4. 応急処置用の氷は、各自氷嚢やビニール袋に入れて所持する。
5. タオルなどのリネン類の共用は避ける。
6. ビブスは共用せず、個人所持とする。共用ビブスを貸し出す場合は使い回しはせず必要の都度貸し出し、使用後は洗濯して返却する。



VII. 休憩・待機場所等、ゴミの管理

1. 待機場所等は広さにゆとりを持たせて場所を確保する。
2. 部室(用具室)は十分に換気を行い、密を避けるため同時に入る人数は2名以内とする。
3. 複数の利用者が触れる場所については、こまめに消毒をする。
4. 鼻水、唾液、鼻血などが付いたゴミは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、原則各自で持ち帰る。
5. 上記を除く団活動で出たゴミを回収する人は、マスクや手袋を着用する。



VIII. トレーニング実施について

1. 集合時間の管理：団員の集合時間は開始時間の15分前以降とする。ただし、6年生は30分前集合とする。
2. 練習時間の管理：大人数の集合を避けるため、当面、分散練習とする。
3. 団員の体調管理：団員の基礎体力が落ちているため、急激な運動は避け段階的に負荷をかけていくよう、練習計画を立てて実施する。
4. 練習時の留意点：選手間の距離を十分に配慮したトレーニングとし段階的に解消する。痰や唾を吐く行為は行わないよう指導する。
5. 練習終了後は、速やかに帰宅する。





MINAMIURAWA Guideline



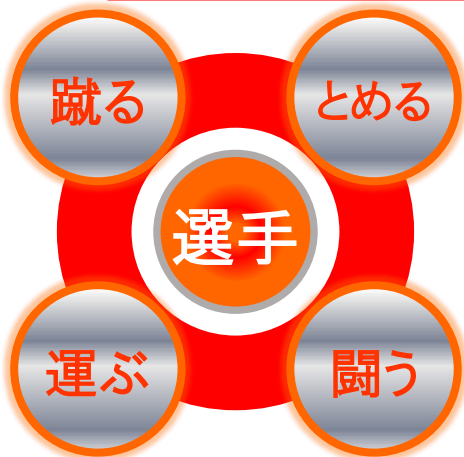
VIII. トレーニング実施 スケジュール プラン

練習形態	時間帯	参加団員
1日練習の場合 ※ 6年生は終日参加	AM	園児・1～3年・6年
	PM	4～6年
AM 練習の場合	9:00～10:30	園児・1～3年・6年
	10:30～12:30	4～6年
PM 練習の場合	12:30～14:30	園児・1～3年・6年
	14:30～18:00	4～6年

※ 状況に応じて時間が変更される場合があります。

IX. 指導育成における活動理念

《 サッカー選手として必要な基礎要素 》



選手として重要な
4つの基礎技術



試合中、常に意識する
5つの要素

【 Activity Philosophy 】

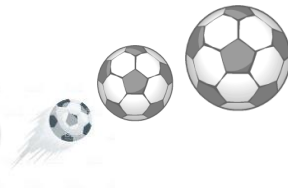
《 観て判断、即実行 》

《 自立 》





MINAMIURAWA Guideline



X. 大会への参加・練習試合等

1. 他グラウンドへの移動
 - (1) 送迎車は窓を開けて換気する。
 - (2) 運転者・保護者・団員・指導者ともに車内ではマスク着用のうえ、会話は最低限とする。
2. 公式戦・招待大会への参加
 - (1) 当該大会の要綱や主催者への確認により、安全な衛生環境の確保が保証できない場合には改善を求める、もしくは参加しない。
3. 他チーム主催の練習試合
 - (1) 団員の基礎体力が落ちているため、練習での段階的負荷の状況を見て参加を判断する。
 - (2) 当該チームの感染防止策を確認し、安全な衛生環境の確保が保証できない場合には改善を求める、もしくは参加しない。
4. 南浦和小学校グラウンドで開催する各種試合
 - (1) 団員の基礎体力が落ちているため、練習での段階的負荷の状況を見て開催を検討する。
 - (2) 来校チームには本ガイドラインを提示し、当団と同様の対応を求める。



XI. 感染者を確認した場合の対応

1. 団員・指導者・保護者に感染の疑いが発生した場合、または濃厚接触者となった場合は、速やかに少年団役員へ連絡し、陰性が判明するまでの活動は中止する。
2. 団員・指導者・保護者に感染者が出た場合は、少年団の活動は中止とし、役員へ連絡し、陰性が判明するまでの活動は中止とする。
なお、クラスター発生のないことが確認出来るまで、少年団の活動は2週間程度中止とし、再開については、新たな感染者の発生がないことを確認して判断する。
3. 感染経路や接触者の確認のため、団活動への参加者、グラウンド来訪者等を記録し、保管する。
4. 試合や大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、対戦チームや主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告する。
5. 万が一、感染が発生した場合には、個人情報取り扱いに注意し対応する。
6. 少年団役員の責務
 - (1) 感染防止策について、団員への徹底、チェック、指導を行う。
 - (2) 感染者発生時の対応についての事前検討、シミュレーションを行う。

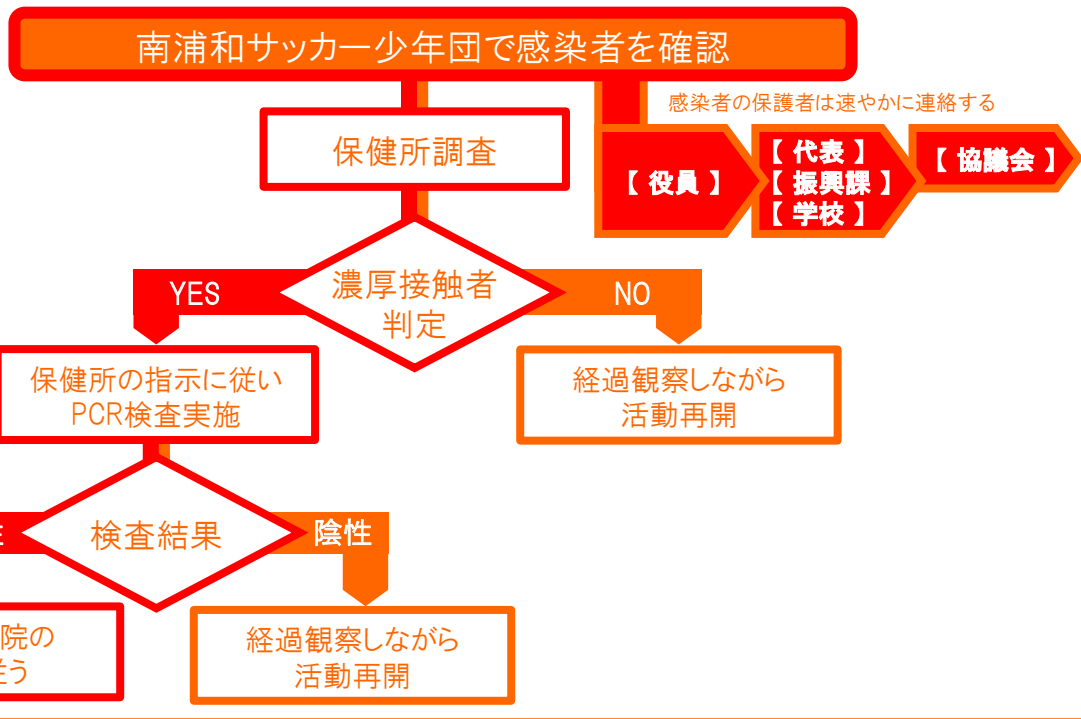




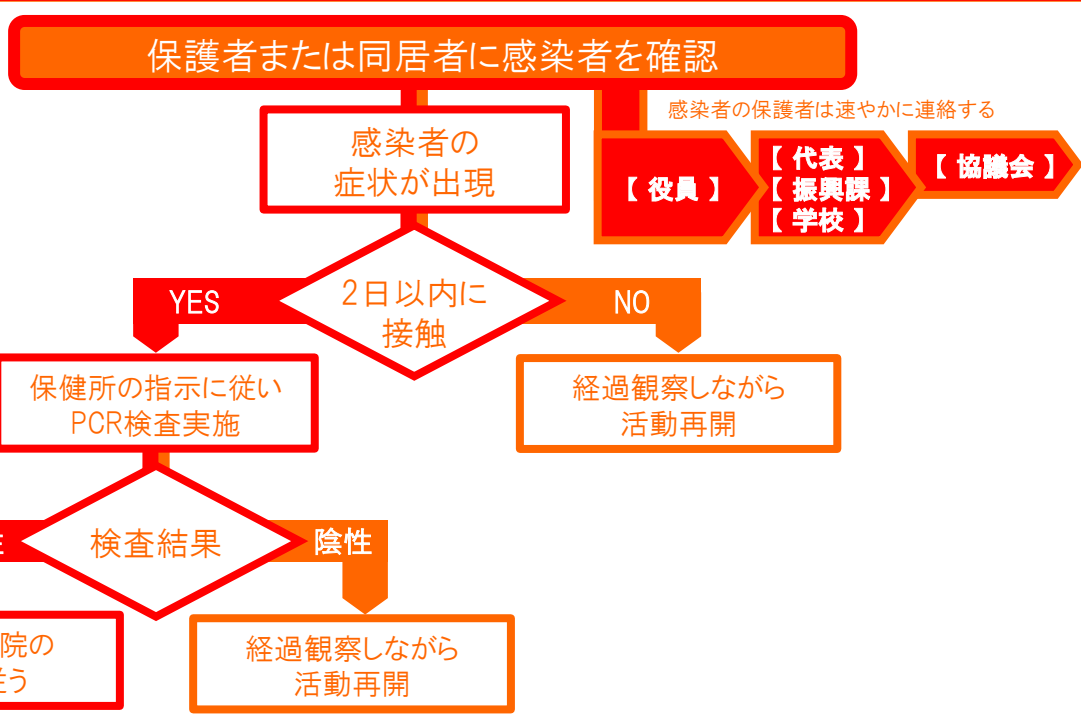
MINAMIURAWA Guideline



XII. 感染者を確認した場合のフロー 1/2



XII. 感染者を確認した場合のフロー 2/2





MINAMIURAWA Guideline



おわりに

平素は、南浦和サッカー少年団の活動に対する多大なるご尽力を賜りまして誠にありがとうございます。改めまして心より感謝・御礼申し上げます。

南浦和サッカー少年団は、本ガイドラインを有効活用のうえ、団員および関係者皆様の健康と安全を最優先に新型コロナウイルス感染拡大の防止に努めて参ります。引き続き、皆様のご理解とご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

なお、本ガイドラインは、現段階で得られている情報に基づいて作成しております。今後の状況により、適宜改定・更新する場合がございますので、予めご了承ください。

Sports assist you
～ いま、スポーツにできること ～

Minamiurawa Junior Soccer Team



Soccer fam



南浦和サッカー少年団
Minamiurawa Junior Soccer Team





MINAMIURAWA Guideline



南浦和サッカー少年団 『健康チェックシート』

【目的】

1. 新型コロナウイルス感染症の拡大を防止し、安心・安全な活動の再開に向けて携わる全ての皆様の健康に留意する。
2. 安全で正しい活動ができるよう、自らの健康状態を確認・把握する。

基本情報	年 番	氏 名 :
	生年月日 :	【 体質・アレルギー 】 1. 食べ物 2. 薬 3. 昆虫 4. その他
	血液型 :	
	安静時基礎体温 : °C	
安静時心拍数 : HR/min		

検温記録	月日 (曜日)	/ (月)	/ (火)	/ (水)	/ (木)	/ (金)	/ (土)	/ (日)
	検温 ①	°C	°C	°C	°C	°C	°C	°C
	検温 ②	°C	°C	°C	°C	°C	°C	°C
	検温 ③	°C	°C	°C	°C	°C	°C	°C

チェック項目	①	平熱を超える発熱がない	
	②	咳(せき)・のどの痛み・鼻水・鼻づまりなどがない	
	③	吐き気・嘔吐などがない	
	④	だるさ(倦怠感)・息苦しさ(呼吸困難)などの症状がない	
	⑤	体が重く感じる・疲れやすいなどがない	
	⑥	下痢の症状がない	
	⑦	臭覚や味覚に異常がない	
	⑧	食欲に異常がない	
	⑨	新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がない	
	⑩	同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいない	
	⑪	過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間が必要とされている国地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がない	
	⑫	その他、気になる症状がない	

＜ 感染予防の三原則 ＞

- ✓ 病原体を除去する(感染源対策): 感染者の隔離・治療
- ✓ 病原体の侵入経路を遮断する(感染経路対策): マスク・手洗い・うがい・人ごみを避ける
- ✓ 個体の抵抗力を増強する(感受性者対策): 予防接種、食生活や生活習慣による体調管理

※ 毎日の健康観察が大切です。各家庭にて毎日の検温と健康管理を徹底してください。





MINAMIURAWA Guideline



《 参考 》 『 感染防止策チェックシート 』 校庭開放委員会

《 利用に際して 》

- 風邪の症状や息苦しさ、強いだるさ、軽度であっても咳・咽頭痛等のある者は利用しないこと
- 過去2週間以内に発熱・風邪等の症状がある者は利用しないこと
- 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合には利用しないこと
- 利用前には利用団体に所属する全員の検温を行い、代表者はそれを確認すること
- 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合には利用しないこと
- 施設内ではマスクを着用すること（運動時除く）
- 利用団体では手洗い石鹸(ポンプ式が望ましい)や消毒液(手指消毒用、清掃用)を確保すること
- 保護者による送迎等は必要最小限にすること

《 利用中 》

- 利用中は常に換気を行い、こまめな手洗い、手指の消毒を徹底すること
- 利用者同士の接触を避け、利用中はお互いの距離(2mを目安)を確保すること
※ 強度の高いスポーツの場合には、呼気が激しくなるため、より一層距離を空けること
- 接触のあるプレーは避けること
- 運動中に痰や唾を吐く行為を行わないこと
- 大きな声で会話、応援等しないこと
- ミーティング中も三密を回避すること
- 食料やタオルの共用をしないこと
- 利用団体が利用者に飲料等を提供する際には、使い捨ての容器を用いること

《 利用後 》

- 施設利用後は、消毒液を使用して利用した範囲の清掃を徹底すること
※ 特に学校施設のもの(ドアノブ、トイレ、スポーツ用具(ポール、ネット等))
- 飲み残しの飲料を含め、ゴミは全て持ち帰ること
- 利用終了後は、速やかに学校から退出すること
- 利用団体から新型コロナウイルス感染者が出た場合には、速やかにスポーツ振興課(代表電話:048-829-1111)と学校へ報告すること





ピコ太郎と一緒に 手を洗おう!!

ピコ太郎と一緒に「PPAP-2020」のメロディーで、
歌いながら楽しく手を洗おう!

手洗いの前に 爪は短く切っておきましょう

20秒以上
かけてゆっくり!
ていねいに!

- 1 水で手をぬらし、石けんで手のひらをよ〜くこするピコ!
- 2 手のこうをスリスリ! 伸ばすようにこするピコ!
- 3 指先・爪の間をこまかくこするピコ!
- 4 両手をギュッ! 指の間を洗うピコ!
- 5 親指つかんでグリグリ! ねじり洗いピコ!
- 6 さいごは手首をつかんでゴシゴシだピコ!

石けんで洗い終わったら、水でしっかり洗い流し、
清潔なタオルなどでよく拭き取って乾かしましょう。



手の洗いかたの手順は、厚生労働省のガイドラインを参考にしています。
手洗いだけでなく、マスク着用など感染拡大防止に心がけましょう。

